



クオリティインディケーター(QI)成果報告 〔医療安全管理部門〕

指標名

RRS (Rapid Response System) の積極的活用の推進

目標・ゴール

RRS 起動基準に該当したタイミングで RRS が起動できる
(達成率 60%)

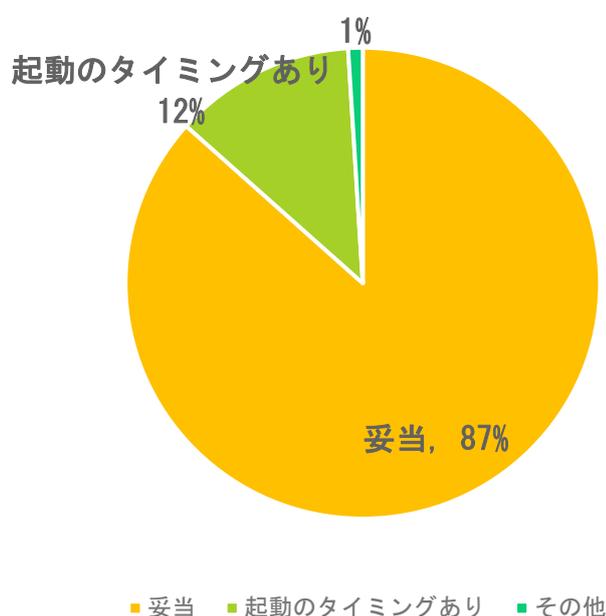
目標・ゴール達成による効果

より早期の急変対応を実施することにより、安全な医療を患者に提供する

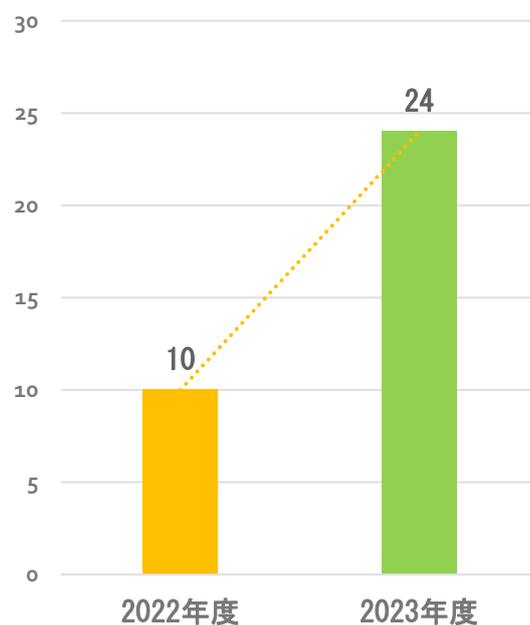
目標・ゴールに対する成果の状況

2023 年度、RRS 起動症例において起動タイミングが妥当な症例は 87%であった。

RRS起動のタイミング



RRS起動件数



目標・ゴール達成度

※該当項目に☑をつけてください

- S :大幅に目標を上回った
- A⁺:目標を多少上回って達成
- A :目標を達成
- B⁺:目標を少し下回った
- B :目標を下回った
- C :目標を大幅に下回った
- :外的要因により継続困難となった。

目標・ゴールの課題・改善策

RRS 起動症例 24 件の起動があった。

起動のタイミングに課題があったのは 3 件、そのうち 1 件は RRS 起動よりコードブルー起動が妥当な症例だった。結果は 21 件が妥当な症例であり 87.5%で目標達成した。クリティカル入室は 73%であり、全身状態の管理が必要な患者は入室できた。RRS 起動に関する手順の逸脱が 25%であり、RRS 起動時は検証を行い、次年度は、適正運用に向けた取り組みを課題としていく。